
史上最悪の × ゲーム

柳 大知

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

史上最悪の ×ゲーム

【ZINE】

Z5480F

【作者名】

柳 大知

【あらすじ】

史上最悪の ×ゲームが世界中で行われようとしている…

『一ヶ月後、地球上の全ての国の面積を半分にする。東西南北、どこから境界線が引かれるかはそれぞれ違う。どこへ逃げても一緒だ。選ばれた場所にあつたものは生物も建物もすべて消え、更地になる。だが、その日まで人間は通常の生活を続ける。もし経済が混乱などしたら実行を早める。お前達人間に出来るのは、その瞬間何処にいるのか、その選択だけだ。』

こんなメッセージが入つた金属の小型カプセルが空から世界中の国に降ってきた。

各国の政治の中核はもちろん、TV局、新聞社、それだけでなく普通の家庭でも届いた所があった。

各国政府は直ぐに悪質な悪戯だと発表し、国民に安全を訴えた。

しかし現代、こんな珍しい事件は国民の間にすぐに伝まる。

世界中の国にメッセージが届いたという異常性。カプセルに未知の金属が使われていると、分析結果を発表する科学者も現れた。さらに、ある無人島でメッセージそつくりの異変が起きているのが発見されると、これらを知った人々は宇宙人の仕業だと叫び、混乱に陥つた。

史上最悪の2択ゲーム。そんな見出しつけた新聞社もあつた。

海上にいれば安全だという噂が広まると、船を持つものは自船を整備し、金持ちは船旅の用意をした。そのせいで船旅の価格は高騰した。

また、空にいれば安全だという意見もあり、その間に空を飛んでいる飛行機のチケットにはとんでも無い価格が付けられた。

だが多くの人は実行が早まるのを恐れこれまで通りの生活を送っていた。

混乱の中で犯罪を犯す者もいたが別段多くは無かった。世界が全滅するわけではない。半分は生き残り、元の生活に戻れるのだ。死を恐れ犯罪を重ねる者は少なかった。

また世界中の靈能者や占い師が、そこは安全、ここは危険などと論じると。それに従い居場所を変えるものもいた。そうしてあつという間に一ヶ月が経った。

日付が変わった国から異変が起るという意見を信じるのは、一番最後になるであろう地域に待機し、各国の生存地域の情報を得て、その法則性を探そうと考えていた。

一方、ごく普通の家庭では、その瞬間を映そうとしているTVの前で家族が身を寄せ合い、祈っていた。

だがおかしい、そのときを迎えたはずなのに、どの国からも異変の情報は伝わってこなかつた。

しばらくして報じられたのは、宇宙から再びカプセルが降つてきたという一報だった。

日本の総理官邸にも新たなカプセルが届いた。

「総理、こんなメッセージが…」

『各國政府は今回の騒動で利益を上げた人間からその利益を回収しろ。そしてそれを世界中の貧困層に配れ。もし実行しなければ、従わなかつた国を今度は本当に半分にする』

メッセージを読み終えた首相はこうこつた。

「お、なんだ」「いや、井の底ねずみ小僧、やつか」

(ト)

(後書き)

世界が半分になることを突きつけられたとこつ案はもとからあったのですが、オチをどうしたらいいか分からず一回ボツにしました。

急にこのオチを思いついたんで書いてみましたが、
実際はもっと混乱するかな…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5480f/>

史上最悪の ×ゲーム

2010年12月29日02時26分発行